

クロスロードの進め方

【準備】

- ・各テーブルに 5 人がつき、各人が自己紹介をする。別途司会と観察・記録者を置いてもよい。5 人の場合はグループメンバーが輪番でそれを担う（カード読み上げ役が司会を担うとスムーズ）。
- ・メンバーそれぞれに「Yes」「No」カード一対と、問題カード（ワンセット 5 枚）を配り、テーブル中央に青座布団カードと金座布団カードを置いたら、ルール説明を行う。

【ゲームの流れ】

- ・順番を決め、カード読み上げ役が問題カードを 1 枚選んで読み上げ、各人が Yes か No を決め、「Yes」「No」カードを裏返してテーブルに置く。
- ・裏返して置いた「Yes」「No」のカードを一斉にオープンし、多数派全員に青座布団（1 点）、唯一異なる意見だった者がいればその者に金座布団カード（2 点）を配布する。
- ・各自が「Yes」「No」を選んだ理由を述べ、意見を交換する。
- ・次の問題カードを読み上げる（問題カードの読み上げ役は交代する。すべての問題カードを読み上げるまで繰り返す）。
- ・すべての問題カードが終了した時点で、点数の多い人がゲームの勝者となる。

【ゲーム中の記録とグループワーク】

- ・ゲームとしては、点数で勝敗が決まるが、このシミュレーションが成功したかどうかは、メンバー間のディスカッションの質による。
- ・ゲーム中、各自（観察・記録者がいる場合はその人）がワークシートに、「Yes の理由・No の理由」を記入する。
- ・デブリーフィングのポイントに示した「デブリーフィングの視点」を確認し、「問いかけ」についてディスカッションし、「気づき・学び」を各自ワークシートに記入する。この際、司会は、適宜「Yes の理由・No の理由」を引用する。

【終了後の全体でのデブリーフィング】

- ・グループワークが終わったら、各グループから「気づき・学び」を中心に発表する。この際、板書するなどして内容のポイントを共有できるようにする。
- ・最後に学習支援者が、テキストの該当ページを用いてまとめる。

※なお、オリジナル版の問題カードは 10 枚（メンバー2 巡分）だが、本シミュレーションでは 5 枚で設定している。集団・地域の状況によって判断も多様になるため、話し合いの時間を長くとる必要があり 1 巡の設定にした。必要に応じ、実際に現場で生じたジレンマ場面を追加してみるとよいだろう。